

ひまわり新聞 12

宣誓

東日本大震災から6年が経とうとしている今、ひまわりという一つの花によってつながった方々がここ福島に集まりました

僕たち聖光学院野球部も全国の里親さんから届けられたきずなの種を受け取りました。里親さんの福島への温かい思いを感じながらひまわりを育てるとともに、日々の練習に励みました

様々な困難も全国の里親さんの思い、福島の方々の思いと共にあったからこそ乗り越えられ、昨年の夏の高校野球ではベスト8と一昨年よりも良い成績を残せました

2011年3月11日以降、新たに生まれたものがたくさんあります。その新たに生まれたものを、福島ひまわり里親プロジェクトを通して、これから大人になっていく僕たちが大切に育て、そして、未来へとそのボールを繋いでいくことを誓います



「ひまわり甲子園2017全国大会」



NPO法人チームふくしま
福島ひまわり里親プロジェクト

TEL.024-563-7472
HP: <http://www.sunflower-fukushima.com/>

メルマガ登録



ひまわり甲子園2017 全国の笑顔と感動につつまれた1日

2017年2月19日、「ひまわり甲子園2017全国大会」を開催させていただきました。

全国大会では、福島県と全国の交流事例、各地方大会の代表者、全8団体が感動の物語を発表。全国各地から約300名が来場くださいました。

福島ひまわり里親プロジェクトに関わってくださいるすべての皆様、今大会に関わってくださいましたすべての皆様へ厚く御礼申し上げます。

ひまわり甲子園 発表者の声

1. 東北地区大人代表
大和田 愛真 様



3度目の参加となるひまわり甲子園。毎年思うことだが、いつも会場は温かい空気に包まれる。それはきっと全国や県内から足を運んでくださる皆さんの心の温かさで作られたものなのだろう。また裏ですべてを支えるスタッフの方々の当日までの奮闘があつてこそだということも忘れてはならない。会場が一体となるそんな素晴らしい舞台で発表の機会を頂けたことに感謝したい。もし私の発表が何かを伝えられたなら、心から幸せだと思つた。

2. 九州・沖縄地区代表
熊本ひまわりプロジェクト
竹下 賢二 様

今回、初めて全国大会に参加させてもらったのですが、他地域の皆さまとの交流や、活動内容などを聞けたりなど、とても有意義な時間になりました。これも震災があつたからこそ出来事でした。同じ気持ちを共有できる同志たちの熱いパワーを胸に今後もますます活動に励みたいと思ひます！



最後に、この機会をいただいたいきました「福島ひまわり里親プロジェクト」の皆さまに改めて感謝申し上げます。

3. 中国・四国地区代表
渋谷 美恵 様



今回、初めてプレゼンテーションをさせていただきました。「福島ひまわり里親プロジェクト」に関わつての裏話」と題したのは、自分自身がこの会を通して様々な方と出会う中で多くの人に知られることはないけれど、私達にはとても素敵な体験で、この裏話を少し自慢したいと思つたからです。震災から6年経ち、状況の変化・課題・新たな刺激を感じさせて頂いた甲子園でした。

貴重な機会を与えてくださったチームふくしまの皆様に感謝いたします。

4. 関東地区代表
富士工業株式会社
梅澤 美紀子 様

富士工業(株)では、新入社員教育の一貫として福島ひまわり里親プロジェクトに取り組み3年が経ちましたが、地方大会・全国大会に参加させて頂き、会社内だけでは気付かなかった事に気付くことができ、そして全国の皆さんの熱い想いを知り、参加できて本当に良かったです。育て方や今後のプロジェクトの進め方はまだまだ手探りの部分もありますが、皆さんの取り組み方を



参考にしながら、新入社員教育以外でもプロジェクトを広めていけたらと思います。貴重な機会を与えていただきありがとうございます！



ガールスカウト千葉県より種寄贈



NPO法人和の皆さん

5. 信州・北陸地区代表
長野県北部高等学校
山田 雅彦 様



北部高校は、2年前よりひまわりを育てて頂いております。

北部高校は、「北斗祭」という学校祭を毎年行いますが、その時期を目指してひまわりを育てて頂いております。

1年目は、「北斗」と文字を浮かき出させて2年目には、迷路を作成されました。ひまわりの種

については、震災の影響を受けた気仙沼産のわかめとさんまを町内で行われるイベントで販売して利益の出た分を種を購入されていると、とことん復興に向けて応援されている学校です。

それも、地域を上手く巻き込みながら。実は、北部高校にひまわりを伝えたのが町内の飯綱中学校になります。町内の小学校、保育園にもひまわりを広めて町をあげての活動に、花開きつつあります。

ひまわり甲子園2017全国大会では北部高校の生徒に代わって紹介させていただきました。

6. 近畿地区代表
社会福祉法人
長岡福祉会友岡保育園
園長 太田 伸彦 様

この度は、「ひまわり甲子園2017全国大会」において取り組み始めたばかりの実践にも関わらず、発表の機会を与えて頂き、誠にありがとうございます。

震災を風化させないために離れた京都から何ができるか、を考えた時、種まきから種の収穫までおよそ半年、取組を継続でき、また園児でも取り組めるプロジェクトに賛同しました。今後とも「震災を忘れない」を合言葉に、園児の心にもひまわりを咲かせていきたいと思ひます。



7. 中部地区代表
NPO法人未来への絆
中居 正博 様

震災後1年ほど、毎月バスをチャーターして中学生と一緒に福島県や岩手県にボランティアとして通っていました。その縁で、2012年から毎年、種を購入



8. 東北地区子供代表
福島市立岳陽中学校3年
松井 新 様

全国大会に参加させて頂きありがとうございます。全国のみなさんが、僕達福島に熱い想いを持ち続けてくれている事に、感動しました。震災があつたからこそ感じる事が出来た、僕の人生の宝物の経験になりました。本当にありがとうございます。避難生活で親と離れ離れで暮らした寂しさ、雪国での辛かった事が、今、振り返ると、僕の人生でかけがえのない宝物になりました。出逢った人と繋がれたこと、不安な僕に声をかけてくれた友人の笑顔は忘れられません。その想いを、書いてくれたのがひまわりでした。これからは、出逢う人の心に咲くひまわりのように生きてゆきます。本当にありがとうございます。

ご祝辞を頂戴しました

福島県 総務部
風評・風化対策監(兼)知事公室長
野地 誠 様福島市都市政策部
公園緑地課
佐藤 正四 様



福島市

- ・アース株式会社
- ・飯野ライオンズクラブ
- ・NTT東日本 福島支店
- ・株式会社クラロン
- ・株式会社こんの
- ・株式会社ぱるる
- ・株式会社フクトウ
- ・株式会社ら・さんたランド
- ・caféひらなが
- ・ガールスカウト福島県連盟
- ・さくち接骨院
- ・さしなみ酒店
- ・ケア工房 美いず
- ・茶話本舗デイサービス湧水堂
- ・整体院縁
- ・TAYORI café
- ・月電工業株式会社
- ・beish hair
- ・美容室ぴいす
- ・伏見珈琲店
- ・福島県青少年育成県民会議
- ・福島交通株式会社
- ・福島市宮下町内会
- ・福島市役所
- ・福島市吉井田地区町内会
- ・福島市倫理法人会
- ・福島スバル自動車株式会社 (県内14ヶ所)
- ・福島信用金庫
- ・福島民報社
- ・フレッシュ株式会社
- ・放課後等デイサービスむすび
- ・ほっとライフ
- ・ぼんさいや あべ
- ・まるせい果樹園
- ・アイリス学園
- ・福島愛隣幼稚園
- ・福島カトリック幼稚園
- ・福島わかさ幼稚園
- ・福島県立大笹生養護学校
- ・福島県立盲学校
- ・福島市立大鳥中学校
- ・福島市立信夫中学校
- ・福島県立福島高等学校
- ・福島県立福島西高等学校 野球部
- ・福島県立福島明成高等学校

二本松市

- ・NPO法人和
- ・JICA二本松
- ・二本松市役所
- ・二本松信用金庫
- ・渡辺養蜂場
- ・二本松市立岩代中学校
- ・二本松市立東和中学校
- ・二本松市立二本松第二中学校
- ・二本松市立二本松第三中学校
- ・福島県立安達東高等学校

郡山市

- ・イオンタウン郡山
- ・オフィスクリエイト 福島
- ・株式会社adica
- ・株式会社柏屋
- ・ハーモニー日和田
- ・夢成株式会社
- ・郡山市立三穂田中学校
- ・福島県立あぶくま養護学校

白河市

- ・白河菓匠 大黒屋
- ・白河信用金庫

桑折町

- ・うぶかの郷
- ・有限会社藤倉保険企画

川俣町

- ・川俣町役場
- ・山木屋太鼓
- ・川俣町立川俣中学校

福島県北部地区連絡会 全90郵便局

福島中町 福島置賜町 福島栄町 福島豊田町 文知摺 福島渡利
 福島新浜 福島花園町 福島八島町 福島県庁内 八島田 福島曾根田
 福島大田町 福島伏拝 福島南町 福島泉 福島三河町 北沢又 福島吉倉
 福島御山 福島野田町 庭坂 土湯温泉 茂庭 笹谷 佐倉 湯野 平野
 福島本内 笹谷東 松川 飯野 岩代大森 金谷川 立子山 鳥川 平田
 下川崎 水原 松川駅前 福島蓬萊 福島医科大学内 岩代 東和
 百目木 安達 太田 新殿 戸沢 波川 木幡 上川崎 二本松竹田町
 岩根 大玉 白沢 杉田 平石 岩代大山 岳温泉 二本松大平 本宮北
 二本松亀谷 川俣 保原 掛田 月館 伏黒 雲山 石戸 山木屋 富成
 岩代小国 伊達福田 梁川 桑折 国見 伊達崎 粟野 伊達 五十沢 山舟生
 大枝 堰本 半田 福島中央 福島東 飯坂 二本松 本宮 (順不同)

須賀川市

- ・イオンタウン須賀川
- ・株式会社アグリックス アックス須賀川店
- ・JR須賀川駅
- ・須賀川信用金庫
- ・須賀川市立小塩江小学校
- ・須賀川市立第二小学校

浪江町

- ・浪江町役場
- ・浪江町立浪江中学校

伊達市

- ・伊達市社会福祉協議会
- ・伊達市立石田小学校
- ・聖光学院高等学校

田村市

- ・田村市立船引小学校
- ・大越町牧野ひまわり会
- ・大越まちづくり協議会
- ・田村市役所

会津若松市

- ・会津太陽光発電株式会社
- ・会津電力株式会社
- ・会津若松市立河東学園小学校

南会津町

- ・ペンション会津六名館

会津坂下町

- ・NPO法人NIVO
- ・株式会社太郎庵
- ・会津坂下町立坂下東小学校

中島村

- ・富士工業株式会社

喜多方市

- ・農泊 若草物語
- ・花みずきボランティア

金山町

- ・金山町観光物産協会
- ・金山町役場



猪苗代町

- ・猪苗代ハーブ園
- ・猪苗代町立猪苗代小学校
- ・福島県立猪苗代養護学校

いわき市

- ・株式会社ありがとうカンパニー
- ・ひまわり信用金庫
- ・メガネ・補聴器の内山
- ・いわき市立小名浜東小学校
- ・いわき市立藤間中学校
- ・いわき市立湯本第一中学校

双葉町

- ・双葉町役場

富岡町

- ・富岡町役場

広野町

- ・広野町立広野中学校

北塩原村

- ・裏磐梯観光協会
- ・北塩原村立裏磐梯幼稚園

楡葉町

- ・ふるさとと心を守る友の会

埴町

- ・埴町役場

鏡石町

- ・福島県立岩瀬農業高等学校

南相馬市

- ・株式会社ホンダセンターウメダ
- ・からすの里16ファミリー会
- ・南相馬市立石神中学校

2017.6.30現在



全国高等学校総合体育大会インターハイ 全国の選手をひまわりで歓迎

平成29年7月28日～8月20日、福島県では、39年ぶりの全国高等学校総合体育大会インターハイが開催されました。

その試合会場である福島市の福島県立福島高校、県営あづま総合体育館の2ヶ所へ、全国の皆さんから届けられた種から育ったひまわりプランターを設置させていただきました。

全国から訪れる選手、監督、保護者の皆さん、応援団をひまわりでお出迎えし、訪れた方々が、ひまわりの前で記念撮影をする光景がみられました。

これらのひまわりは、福島県立福島高校様(福島市)、福祉作業所ほっとライフ様(福島市)、NPO法人和様(二本松市)、牧野ひまわり会様(田村市)が育ててくださいました。



5月25日

全国からのきずなの種を
福島高校へ寄贈



きずなの種10000袋とプランター20鉢を寄贈させていただきました。福島高校の「南東北総体推進委員会」によるひまわり栽培がスタート！

7月26日

福島高校のひまわり開花！
全国の選手を歓迎



バスケットボール会場である福島高校で、育てたひまわりが開花し、きずなのひまわりが全国のバスケットボール選手を歓迎しました。

7月26日

競技会場へ
ひまわりプランター搬入



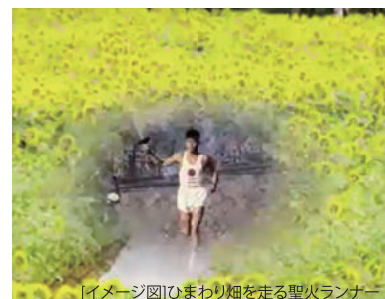
福祉作業所ほっとライフ、NPO法人和、牧野ひまわり会で育てたひまわり約200本を、県営あづま総合体育館へ搬入しました。

8月4日

競技会場
ひまわり開花の様子



県営あづま総合体育館に設置したひまわりは8月1日頃から可愛らしい花が咲き始め、選手を歓迎し、見守ってくれました。



【イメージ図】ひまわり畑を走る聖火ランナー

今回の取り組みは、2020年東京オリンピック時の事業モデルケースとして実施いたしました。

2020年に開催される東京オリンピックの野球・ソフトボール会場が福島県福島市の「県営あづま球場」に決定されました。本プロジェクトでは、その際、プランターに咲かせたひまわりを会場に設置し、選手の皆さまの応援、『復興のシンボル』として、ひまわりを通して感謝の気持ちを伝えることを進めています。

※この取り組みは公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会様のご支援を頂いて実施しております。

病院プロデュース！世界で一番ひとに優しい バリアフリーひまわり畑



2017年7月30(日)山梨県の里親さまである、医療法人桃花会 一宮温泉病院さまの「開花記念祭」に、福島ひまわり里親プロジェクトの事務局スタッフが出席させていただきました。

病院ならではのアイディアで、誰もが楽しめるバリアフリーなひまわり畑が広がっていました。一宮温泉病院さまの取り組みをご紹介します。

一宮温泉病院『開花記念祭』



ひまわり開花記念撮影会
その場で写真をプレゼント



車椅子用マットを敷き、バリアフリー
ひまわり畑を開設！車いすの方も自ら
何度も畑に足を運ばれていました。

ひまわり絆衣装で「ひまわり畑」
を踊る病院スタッフの方



一宮温泉病院 職員の皆さま



医療法人桃花会 一宮温泉病院
ひまわり里親プロジェクト委員
古屋真知 様

医療法人桃花会一宮温泉病院は山梨県の笛吹市一宮町にある病院です。2017年3月、病院の空き地を利用して、震災復興支援と地域とのコミュニケーション活動を兼ねた車椅子でも入りやすい「バリアフリーひまわり畑」を開設しようとプロジェクトが発足しました。

元々は葡萄畑だった所をスタッフが耕し、スプリングカラーを手作りし、車椅子用マットを敷き土台を作りました。地域住民や、保育園、施設等に声をかけ、種まきや開花祭には大勢の方々に参加していただきました。天候に恵まれ開花祭よりも2週間程早く満開になりましたが、当日はひまわりの前で記念撮影をしたり、フラダンスショーを見たりと参加して下さった方々の笑顔がたくさん見られました。

初めての事で大変な事もありましたが、楽しいひと時となりました。それと同時に植物を育てる難しさを改めて実感しました。

あと半年あまりで震災から7年。東北はまだまだ復興の途中かと思えます。そんな中、ここ一宮町から少しでも復興のお役に立てたのなら幸いです。

ひまわり甲子園2018

全国大会

2018
3.11
[Sun]for you ♡
for Japan

9:00～13:00 (食事付)

エルティ ウェディング・パーティ エンポリウム
(福島県福島市野田町1-10-41)

内容

ひまわりで全国と福島をつなぐ復興支援活動「福島ひまわり里親プロジェクト」に取り組みながら、福島を応援する日本中の子どもたち、大人たちが福島に集結。

日本全国で行われた地方大会の代表者、福島県の代表者の皆さんが、復興支援活動を通して気づいたことや、取り組みの中で生まれたたくさんの物語を発表するプレゼンテーション大会。

※発表団体は決まり次第ご案内いたします。



会場アクセス

エルティ ウェディング・パーティ エンポリウム

〒960-8055 福島県福島市野田町1-10-41 TEL:0120-6188-39

交通のご案内

福島駅西口より徒歩約8分

福島西ICより車で約15分

■駐車場：約50台（無料）

※駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



❀ 震災があったから“こそ”生まれた『ありがとう』が、日本中から集う一日 ❀

あの震災があったから“こそ”気づくことができた、人と人との繋がり温かさ、「当たり前のこと」の大切さ。

福島ひまわり里親プロジェクト、そしてこのひまわり甲子園が防災、道徳、人権教育や、復興支援活動を行っている全国の皆さんが実際に福島を訪れるきっかけになっています。「福島ひまわり里親プロジェクト」は、今こそ思いやりの花を咲かせ、100年後の福島へ伝承伝達していきます。



ひまわり里親プロジェクト 検索

プロジェクトでは、福島県教育委員会主催の平成29年度「子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業」に採択いただき、福島子どもたちがふくしまの復興のために「考え」「判断し」「行動する」社会体験・社会貢献活動を実施しています。その実施内容「ひまわり甲子園2017中部大会」「福井県と福島県の合唱交流」「福島ひまわりハチミツプロジェクト」をご紹介します。

ひまわり甲子園2017

● 中部大会 in 三重 ●

8月8日(火)、「ひまわり甲子園2017中部大会」が三重県で開催されました!三重県や京都府の5団体の里親様がひまわりを通じた物語を発表していただき、震災を忘れない想いを再確認するとともに、中部地方と福島の絆がより一層深まる貴重な時間となりました。



松阪市立阿坂小学校



はぜの風



中瀬古三重県議会議員

<発表団体>

*オープニング

- ・バンド『スロウハイツと太陽』ライブ
- ・『人形劇(サンサングループ)』

*団体・個人の発表

- ・松阪市立阿坂小学校(三重県)
- ・のぞみ鍼灸整骨院(京都府)
- ・中瀬古三重県議会議員(三重県)
- ・はぜの風 北川京子(三重県)
- ・NPO法人「未来への絆」(三重県)

8月21日(月)、福井県鯖江市立待(たちまち)小学校にて、同校の5・6年生児童と福島の小学生～高校生6名の子どもたちが歌「ひまわり」の合唱交流会を開催しました。2012年に立待小学校の当時3・4年生が作詞し、福島へ贈っていたいただいた歌「ひまわり」。今では、プロジェクトの復興ソングとして、福島の元気につながっています。

交流会では、お互いの地域を紹介したり、合唱で心を通わせ、福井と福島のきずなが紡がれました。



福島県の紹介



「ひまわり」合唱



交流会の様子

始動! 福島ひまわり
ハチミツプロジェクト

2017年度は、福島で咲かせたひまわりからハチミツを採取し、福島子どもたちが商品化する「福島ひまわりハチミツプロジェクト」を進めています。全国と福島で育った甘いひまわりハチミツの発売をお楽しみに!



実施場所: 福島県田村市大越町のひまわり畑
実施期間: 2017年6月下旬～2018年3月
販売予定: 11月 ひまわり甲子園信州北陸大会
3月 ひまわり甲子園全国大会
協力: 株式会社渡辺養蜂場・牧野ひまわり会





応援メッセージ入り封筒(プロダUP中)

唐津市立浜玉中学校は2016年度第11回SYDボランティア奨励賞で優秀賞を受賞しました。SYDボランティア奨励賞とは学校や地域でのPTA、子ども会、団体・グループなどのボランティア活動で、画期的で新しい試みを展開していたり、優れた活動によって、著しい効果を上げたグループ・団体を顕彰しているものです。

ルキヤップ回収など様々なボランティア活動を実施しています。活動は多岐にわたり、生徒の参加率も4割を超え、ボランティア活動に対する意識がとて高くなっています。そのような中で、独自に取り組んでいる活動の一つが「福島ひまわり里親プロジェクト」です。平成26年度より取り組んでいる「福島ひまわり里親プロジェクト」では地域の小中学校、地域の人々にも協力してもらったため、協力依頼の手紙を出したり、直接訪問したりして里親になってもらっています。また、福島へ種を送付するときに、応援メッセージ入りの封筒やカード、復興支援ののぼり等を制作し、一緒に送付しています。また、年に一度福島で開催されるひまわり甲子園に参加し、活動報告をするともに、他団体の活動を学び、交流を図ったり、活動資金のための募金活動を行ったっています。

佐賀県
唐津市立浜玉中学校
SYDボランティア奨励賞
優秀賞
盛田 美紀子 教諭



全国表彰式(2017.2.11)



募金活動

学校紹介
唐津市立浜玉中学校は、山と清流玉島川、玄界灘に囲まれた自然豊かな土地に位置します。伝統的に先輩方から「命の宣言」や「あいさつ」、時間、掃除が受け継がれており、青少年赤十字の加盟校でもあります。学校内でのボランティア活動の他にも学校周辺での活動にも力をいれており、町内のごみ拾いや、清掃、募金活動などを計画的に実施しています。

ひまわり里親プロジェクトともにボランティア活動のもう一つの大きな柱である国立ハンセン病療養所菊池恵楓園との交流では、毎年バス研修で訪問し、プロジェクトのひまわりの種をプレゼントして園内に植えて頂いた後、それぞれの活動を結びつけています。恵楓園は福島の子どもたちを招待する支援活動に取り組んでいます。

今年のひまわり甲子園全国大会2017では、小児がん治療中の本校生徒瀧下唯さんのために、たくさんの方の励ましを頂きました。おかげ様で、無事に抗がん治療を終え、卒業式に参加することができました。第一志望の高校にも合格でき、元気に高校生活を送っています。4月には共に恵楓園を訪問し、「福島ひまわり里親プロジェクト」の方々、全国の里親さんに支えてもらって



恵楓園訪問



瀧下 唯さん

昨年度は、私たち浜玉中学校のある九州でも、熊本・大分で大きな地震が起きました。すぐに福島から熊本へひまわりの種が送られ、熊本にもひまわり里親プロジェクトが展開されたことをとても嬉しく思いました。ひまわりによって、絆が強く結ばれ、勇気と感動を与え続けている。本当にこの活動に参加できて良かったなと思います。

感謝している。」と話しています。彼女は、来年のひまわり甲子園全国大会で福島に行って、お礼が言えるようにしたい、と貯金をし、今年も家族でひまわりを育てているそうです。本校の活動が少しでも、福島の方々のお力になれているのであれば嬉しい限りです。

復興庁主催のイベントで絵本作家はらきょうこ先生がプロジェクトについて発信！

復興庁主催で6月11,12日に大阪市で開催された復興フォーラムin大阪。被災地の現状や魅力の情報発信を目的としたこのイベントの初日「東北縁日2017」では、はらきょうこ先生より吉野正芳復興大臣にひまわりの種を手渡しさせていただきました。はら先生はステージ企画でも、たびくまの紙芝居や絵本の読み聞かせを行い、多くの方に福島ひまわり里親プロジェクトのことを伝えてくださいました。



ひまわりの種を吉野復興大臣に寄贈するはら先生

子供に優しく読み聞かせ



はらきょうこ
愛知県在住の絵本作家
たびくまの生みの親。
「わくわくのしい」を大切に、
あたたかい気持ちになつて笑顔
になれる絵本を届けたいと
日々楽しく活動中。

開花情報



9月12日、復興庁様より、震災開花にてひまわり開花のご報告をいただきました。ありがとうございます!!

6月11日(日)に大阪にて開催されました、復興フォーラム「東北縁日2017」は東北の今を、食べて、観て、感じて、知って楽しむことができるイベントでした。
私は、「絵本でつなぐ福島との絆」と題して、福島ひまわり里親プロジェクトさまとの絵本「たびくま」と ひまわりばたけ」と、桃の力プロジェクトふくしま土壤ネットワークさまとの絵本「あかつきむら」の ももばたけ」の制作を通して伝えたいこと、創作していくうえで、福島のみなさまとの関わりなどをお話させていただきました。絵本の朗読では、多くのこどもたちに物語をお届けできて嬉しかったです。
復興庁の吉野大臣さまとも、絵本をご覧いただきながらお話ができ、ひまわりの種も贈呈することができました。
今回交流をしたみなさまが、福島や東北に遊びに来ていただけたら嬉しく思います。

福島県の学生がプロジェクト活動を体験！

ふくしま地域活動団体サポートセンター様主催「チャレンジインターンシップ事業」の一環で、8月～9月にかけて4名の学生が「福島ひまわり里親プロジェクト」の活動を体験されました。

福島の復興の力になりたい、将来は大好きな福島で仕事をしたい、など地域に貢献したいという気持ちがインターン活動中にも表れていて、学生の若い力を多に発揮してくださりました。

※「福島ひまわり里親プロジェクト」ボランティア募集中/
活動希望の方は事務局まで。





sunflower wedding

2017/8/15



今年も「ひまわり結婚式」を開催させていただきました！
 2017年度のひまわりカップルは佐藤匠さん・瞳さん夫妻、福田剛さん・真寿美さん夫妻、小林直輝さん・真希さん夫妻の3組。
 2017年5月3日の種まき人前式、6月4日の苗植え替えを経て、8月15日の挙式が執り行われました。あいにくの雨模様でしたが、式中は雨が上がり、参列者とともにお天道様とひまわりも3組のカップルを祝福してくれる奇跡のウェディングとなりました。おめでとうございます！！



たびくまくんLINEスタンプ販売中

福島ひまわり里親プロジェクトのマスコットキャラクターたびくまくんがスタンプになって登場！！



たびくまスタンプ

検索

ひまわりが咲くたびにふくしまが輝いた！

読者の皆さんからご感想をいただきました

3月発売のプロジェクト書籍。Amazonで購入できます。

- 愛らしいひまわり、親しみのあるキャラクターとはうらはらに、3/11を前にして、覚悟を決め、使命を託しに落とす生きるとは何かを問われる本でした。
- 悩みを抱えていた私に、もっと悩んでいてもおかしくない筈の「チームふくしま」のみなさんからたくさんの元気とほっとするほどの感動、そして、深い学びをいただけてしまいました。「チームふくしま」はどうしてあれほど前向きなのか？予想を上回るおもてなしができるのか？本業以上に、仲間を大切にできるのか？その答えがこの本に書かれていました。この本には福島だけでなく、自分の復興へのヒントがありました。
- このプロジェクトに参加しプロジェクトの方達の真摯な姿を見ることで逆に私の方が元気をわけてもらっているというか…励ましてもらっているように感じています。そんな素敵な、熱いプロジェクトがどのように生まれ、どのように広がっていったのかを書いたのがこの書籍です。
- 表紙の写真に惹かれて手に取る方もいらっしゃると思います。まずは読んでみてください。一輪のひまわりに込められた沢山の人の温かさや想いが、ページをめくるたびに溢れだします。



(Amazonレビューより抜粋)